

# 第1章 調査の概要

## 1-1. 調査の目的

村上市は、平成20年4月1日に1市2町2村が合併して誕生した新潟県の最北に位置する市で、約1,174平方キロメートルの広大な市域に約70,000人の人口を有している。

市の総人口の減少や少子化による通学・通勤需要の減少、マイカーの普及などにより公共交通利用は総じて減少しており、その結果、公共交通の弱体化が進行している。

公共交通のうち路線バスについては、現在20系統の運行があり、これまで市ではバス事業者に対する赤字補填を行い、住民の生活路線維持・確保に努めてきたが、財政負担が増大し市の財政が逼迫している状況である。

また、公共交通利用者は年々減少傾向にあるものの、高齢化が進むことにより車を運転しない高齢者はさらに増加していくものと予想され、過疎化や高齢化に対応した持続可能な公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

村上市が将来にわたって魅力的で活力ある市となるためには、公共交通をはじめとした地域に密着した課題を地域が主体的に解決できる体制を築く「エリアマネジメント」が重要であり、市民と行政とが共に支え合いながら推進する協働のまちづくりの実現が求められている。

本調査は、国土交通省による「公共交通活性化総合プログラム」を活用し、市内における公共交通を取り巻く環境調査を行い、現況の把握や整理・分析をし、住民・交通事業者・行政の様々な視点から効率的・効果的かつ持続可能な公共交通体系構築策の検討を行うことを目的とするものである。

## 1-2. 調査の概要

本調査の概要を以下に示す。

調査名：

「村上市におけるエリアマネジメントに配慮した地域公共交通体系構築プロジェクト」に関する調査

履行期間：平成21年9月1日～平成22年3月26日

調査内容

- (1) 現況把握調査
- (2) 交通利用ニーズ調査・分析
- (3) 特定地域（モデル地区）調査
- (4) 地域公共交通総合連携計画に向けた提案
- (5) 村上市公共交通活性化検討委員会の開催・運営
- (6) (1)～(5)をとりまとめた村上市における地域公共交通体系整備の方向性についての報告書の作成

### 1-3. 調査の流れ

本調査の流れを以下に示す。

